

### 評議會脫退聲明書

全國の労働者諸君！

吾々は今、評議會から脱退した。

それは、個人的な野心や又幹部に對する單なる反感からでもない。吾々の脱退理由は、『黄金』と『小兒病政策』との結合を以て、無産階級運動を毒する者と分離して、眞實なる無産階級運動の途上に立たんとするに在る。

吾々は今日迄、評議會内に在つて、總同盟との分裂以來五尺の小身を一枚の宣傳ピラとして、あらゆる困難と迫害とに對抗して、無産階級運動の指標である強力なる大同團結のために戦つて來た。殊に、資本家の黄金を軍資とする總同盟のダラク幹部からは、『共產派よ』『共產黨よ』の悪罵と中傷を滿身に浴び乍ら、よくそれに對抗しつゝ戦つて來た。

その傍ら吾々は、往々にして評議會を、部分的に、或いは全般的に動かしたところの小兒病的政策の非を、評議會の立場を考慮しつゝ攻撃して來た。

この努力にもかかわらず、評議會の現状は、『危険にして極端なる小兒病』は『出所不明の黄金』と完全に結合し、しかも、その範圍がヨリ擴大され、ヨリ硬化されて、益々猖獗性を振ふに至つて、今や既に、労働階級の日常的利益を擁護獲得する大衆團體としての性質を失はんとしてゐる。

かかる急速的な傾向とこれに依つて生ずる大なる損失と無益なる犠牲は、吾々をして、『黄金』と『小兒病』との指導者及び其の追隨者と絶縁することではなければ、無産階級運動の發達は期し得られるものではないことを確信せしむるに至つた。

見よ、今、既に、それが左の如く現實的に示されてゐるではないか！